

事業コード	0010203			政策コード	04	政策名	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略				
事業名	宿泊施設経営革新支援事業			施策コード	01	施策名	地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化				
				指標コード	02	施策目標(指標)名	観光客のニーズに対応した受入態勢の整備と、観光人材・事業者の育成				
部局名	観光文化スポー	課室名	観光戦略課	班名	企画班	(tel)	1462	担当課長名	笠井 潤	担当者名	齋藤貴之
評価対象事業の内容											
1－1．事業実施の背景（施策目標の達成のためになぜこの事業が必要であったのか） 宿泊旅行統計調査における延べ宿泊者数が東北最下位である状況において、地域観光の拠点となる宿泊施設の整備や、需要拡大が見込まれる分野に対応した取組への支援が急務であるとともに、宿泊施設において深刻な問題となっている従業員不足の解消に向け、ＩＣＴの活用等による生産性向上を促進する必要がある。						5．前回評価における指摘事項等					
						①指摘事項					
1－2．外部環境の変化及び事業推進上又は完了後に明らかになった問題点 新型コロナウイルス感染症の流行が拡大し、収束時期が見通せない中、新型コロナウイルス感染症の影響により変化した新たな旅行スタイルに対応した施設整備等に対する支援が必要となった。						②指摘事項への対応					
						6．事業の内容					
2．住民満足度の状況(事業終了後に把握したもの) ①満足度を把握した対象 ■ 受益者 □ 一般県民（時期： R03 年 02 月） ②満足度の把握方法 □ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット □ その他の手法（具体的に ） ③満足度の状況 ・ 宿泊施設の魅力向上や、新たな旅行スタイルに対応した施設改修等を実施したことで、宿泊客の満足度向上につながった。						①事業概要及び推進状況					
						新たな旅行スタイルに対応した施設改修（ワーケーションへの対応、家族・小グループに対応した客室の整備 等）、感染リスク低減を目的とした施設改修（非接触チェックイン機の導入等）に対して支援を行った（12事業）。					
3．事業目的（どういう状態にしたかったのか） 宿泊施設の改修等を支援することで、県内宿泊施設における受入態勢の改善を図る。						②事業費等					
						単位（千円）					
4．目的達成のための方法 ①事業の実施主体 県 ②事業の対象者・団体 宿泊施設経営者 ③達成のための手段 宿泊施設の整備を行う事業者に向けた補助事業を実施する。						内 訳			当初計画事業費	最終事業費	
						新たな旅行スタイルに対応する宿泊施設支援事業			160,278	160,054	
財源内訳									0	0	
									0	0	
									0	0	
									0	0	
									0	0	
						事業費計			160,278	160,054	
						国 庫 補 助 金			160,278	160,054	
						県 債			0	0	
						そ の 他			0	0	
						一 般 財 源			0	0	
③当初計画及び最終の事業費比較						最終事業費／当初計画事業費 =(1)					

7. 事業の効果及び課題の改善状況 県内宿泊施設の受入態勢の強化を図ったものの、アフターコロナを見据えた事業者の取組については、引き続き支援を実施する必要がある。										所管課の評価			
8. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み										評価結果			
指標Ⅰ	指標名	改修した宿泊施設の宿泊者数の伸び率							指標の種類	有効性の観点	住民満足度の状況 ●a ○b ○c 【b又はcの場合の分析】		
	指標式	宿泊施設経営革新支援事業の補助金を活用した施設の改修実施年度と翌年度の宿泊者数の伸び率の平均を指標とする。(%)							●成果指標 ○業績指標		事業の効果 適用の可否 ○ 可 ○ 不可 ○a 達成率100%以上 ○b 達成率80%以上100%未満 ○c 達成率80%未満 【b又はcの場合の理由】 指標は未判明だが、事業者からのヒアリングにより、宿泊客の満足度向上に寄与したと判断されるため。		
	①年度別の目標値（見込まれる効果） 低減目標指標 ○ 該当 ● 非該当												
	指 標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	01年度	02年度	全体				
	目標a	0	0	0	0	0	102	102					
	実績b	0	0	0	0	0	0	0					
	b/a						0%	0%	0%				
	②データ等の出典		県観光戦略課調べ										
	③把握する時期 ○ 当該年度中 月 ○ 翌年度 月 ● 翌々年度 07月												
指標Ⅱ	指標名								指標の種類	効率性の観点	事業の経済性の妥当性 適用の可否 ○ 可 ● 不可 ○ a 1.0～ ○ b 0.8～1.0 ○ c ～0.8 $\left(\frac{\text{事業終了後の効果}}{\text{最終事業費}} \right) / \left(\frac{\text{当初計画時の効果}}{\text{当初計画事業費}} \right) =$ 【評価への適用不可、又はb、cの場合の理由】 指標は未判明だが、事業費を精査し効率的な取組がなされるよう助言を行うなど、効率性の向上に努めたため。		
	指標式								○成果指標 ○業績指標		評価結果 ○A 1.0～ ●B 0.8～1.0 ○C ～0.8		
	①年度別の目標値（見込まれる効果） 低減目標指標 ○ 該当 ○ 非該当												
	指 標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	01年度	02年度	全体				
	目標a	0	0	0	0	0	0	0					
	実績b	0	0	0	0	0	0	0					
	a/b								0%				
	②データ等の出典												
	③把握する時期 ○ 当該年度中 月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月												
◎指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法													
①指標を設定することが出来なかった理由													
②成果（見込まれる効果）													
政策評価委員会意見													
評価結果の類似事業への反映状況等(対応方針)													

終了事業事後評価判定点検表

(様式 5 - 1)

(1) 各評価項目の判定基準

観 点	評価項目	判定基準	配点	1次	2次	評価結果	
ア有効性	一 住民満足度等の状況	a 住民満足度等を的確に把握しており、満足度も高い	2	2		A:有効性は高い (4点) B:有効性はある (1～3点) C:有効性は低い (0点)	
		b 住民満足度等を把握しているが、手法が的確でない又は満足度が高くない	1				
		c 住民満足度等を把握していない	0				
	二 事業目的の達成状況	a 目標値に対する達成率が全て100%以上	2	1		1次 2次	
		b a、c 以外の場合	1				
		c 目標値に対する達成率のいずれかが80%未満	0				
	計		4	3		B	
イ効率性	一 事業の経済性の妥当性	a 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値（注）が全て1.0以上	2	1		A:効率性は高い (2点) B:効率性はある (1点) C:効率性は低い (0点)	
		b a、c 以外の場合	1				
		c 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値のいずれかが0.8未満	0			1次 2次	
	計		2	1		B	

(注) 事業経済性の算定式

$$\left(\frac{\text{事業終了後の効果} - \text{最終事業費}}{\text{当初計画時の効果} - \text{当初計画時事業費}} \right)$$

上式で、効果とは事業の効果を把握するために設定した指標の実績値をいう。なお累積の実績値を設定している場合は、前年度からの差し引きによる「単年度増加分」を実績値として用います。

(2) 総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価	
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	B	
B (概ね妥当である)	総合評価結果が「A」又は「C」以外の場合		
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合		